



## 新年のごあいさつ

理事長 山中 森勝



会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。併せて当センターが皆様のご支援、ご協力を賜りながら、事業運営が図られていることに対し、心から厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も残り3ヶ月となりましたが、事業実績の見込みについては、コロナ禍が収束しない中ですが、前年度実績より多少の増額が予想されているところであります。

また、センターの要である会員数は、減少が続き2,900人を割り、2,800人台と横ばいが続いていますが、今年度は各ブロックで就業開拓・会員拡大のプロジェクトを立ち上げ様々な活動をされていますので、これから花が咲くものと期待しています。

ところで、シルバー人材センターの運営を左右する、消費税に係るインボイス制度（適格請求書等保存方式）が本年10月から導入される予定になっています。

報酬よりも社会参加・健康維持に重きをおいた「生きがい就業」をしている会員に対して、形式的に個人事業者であることをもって制度をそのまま適用することは、地域社会に貢献しようと努力している会員のやる気、生きがいを削ぎ、地域社会の活力低下をもたらすものと危惧しています。

こうしたことから、本市の本村市長はじめ、市議会、そして国会議員に対し要望活動を行いました。

また、全国的にもインボイス制度がシルバー人材センターに影響を及ぼさないよう請願し、各自治体でも積極的に国に働きかけていただきましたが、導入やむなしの結果となってしまいました。

現在、厚生労働省では、シルバー人材センターの運営に影響が及ばないよう様々な方策を模索中と聞いておりますが、いずれにしてもセンター、お客様、会員の皆様に影響があるものと思われます。その節は皆さんに別途説明させていただきます。

一方、会員の皆様には常に安全就業をお願いしているところですが、今年度も事故が多発しています。昨年11月末において、傷害事故は7件、賠償事故では13件となっています。その中では、熱中症による死亡という重篤事故も発生しています。また、竹の伐採中に竹が走行中の車に当たり、一般の方に大きな迷惑を掛けてしまった事故などがありました。他にも就業中の転倒事故、除草作業中の怪我等が発生し、残念に思っています。作業の開始前には作業環境確認等安全対策を十分にいただき、ご自身とご家族のためにも、身の安全を守っての就業をお願いいたします。

当センターは来年度に向け、職員ともども魅力のあるセンター、親しみのあるセンターを目指し、会員が笑顔で就業できるよう取り組んでまいりたいと思っておりますので、皆様の更なるご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、私の挨拶といたします。

## 理事会だより ー令和5年度配分金見積単価決定ー

10月20日(木)、第4回理事会がWeb会議により開催されました。第1号議案では、令和5年度の配分金見積単価基準が承認されました。

今回の改定では、最低時間配分金が神奈川県での最低賃金である1,071円と同額になり、現行から71円増の大幅な引き上げとなります。

業種ごとの配分金単価は、令和4年度の他市センターにおける配分金設定の平均値を基準とし、平均

値に対して下回っている場合は70円の増額、上回っている場合は10円の増額としています。

また、他市センターとの比較及び作業会員不足等の状況を鑑み、除草(手作業)は1,150円、草刈(機械)は1,250円となります。また、第2号議案では嘱託職員就業規則一部改正、第3号議案では臨時職員及び非常勤職員就業規則一部改正について審議され、承認されました。

## 各種技能講習会の開催

### 草刈機械操作講習会

例年どおり「草刈機械操作講習会」が9月29日(木)から30日(金)の2日間で開催され、受講者は19名でした。

講師は(株)ニッカリ東日本営業所長の斉藤先生を迎えて、操作方法など基礎知識に加え、作業体験を通じた草の効率的な刈り方などのノウハウを学ぶことができました。「天候にも恵まれ快適な講習会でした」との感想も聞かれました。皆様お疲れさまでした。(山川)



淵野辺公園にて

### 植木講習会

「植木講習会」は前期が7月に2日間、後期が10月に2日間、19名が参加され座間市(株)植藤所有地で実技による講習会が開催されました。

講師は(株)植藤の石川先生を迎えて、季節や時期を考慮した剪定をすることの大切さなど、松を教材に剪定実習を行い、参加者からは「先生の講義は丁寧でわかり易い」「1日も早く実務に活かしたい」等の感想がありました。(山川)



座間市(株)植藤松林にて

### 毛筆筆耕講習会

「毛筆筆耕講習会」は中央・南・緑ブロックごと1日2時間の2日間に亘り、小山荘雪先生を迎えて、開催されました。

各会場の受講者は中央3名、緑6名、南7名、合計16名が受講されました。

講習及び実習内容は賞状及び宛名書きに対して、紙・墨・筆・書体、文字構成と配置、書写をする際の入筆角度、筆使い(筆圧・緩急)等の指導を受け、臨書・書写実習に打ち込んでいました。

毛筆の技術は一朝一夕では習得できませんが、これを機会に、継続的に筆を執って書写をすれば、技術は向上します。筆耕業務に就く足掛かりにしてください。(松本)





# いきがいの仲間たち

## 相模病院において厨房の補助業務等に就業 【南ブロック】

相模病院（相模原市南区若松1丁目）は小田急相模大野駅北口より、神奈中バスJR相模原駅行き（鶴野森経由）「相模病院入口」バス停で下車し、徒歩5分の所にあり、診療科目は精神科・神経科・心療内科を設け、入院病床数は173床を備えており、外来は月曜日から土曜日、午前9時から午前11時30分までが受付時間となっています。この病院の厨房の補助業務等に就業する酒井和男さんを取材しました。

就業は週3日間（火・木・金曜日）、午前8時から正午まで、全スタッフ15名で入院患者個々の朝食・昼食・夕食に対応した調理方法で野菜等の洗浄、野菜のカット処理などの下拵え、盛り付け、食器類の洗浄、調理室内の清掃、次の配膳に向けての準備をするなどを順次繰り返し行っています。「4時間立ちっぱなしなので、忍耐が必要です。また、自転車通勤で足の筋力を維持することができ健康管理

に役立っています」と言っていました。

酒井さんは調理関係業務の経験者で、調理関係の資格を持っておられるとのことでした。

趣味など伺ったところ、「趣味という趣味はありませんが、植木鉢を眺めたり、水やりをしたりして余暇の一時を過ごしています」と言っていました。ご協力、ありがとうございました。

（松本）



## 「さくらの郷」の野菜直売所で就業 【緑ブロック】

緑区上大島の「清流の里」付近にある野菜直売場「さくらの郷」で野菜の販売業務に就く盛島サエ子さんを取材しました。

直売所は毎週土・日曜日に正午から午後4時まで営業しています。盛島さんは土曜日が担当で日曜日は他の人が担当しています。仕事内容は、朝に農家が持ってくる野菜の陳列を手伝っています。ここで販売している農家は2軒です。

価格は農家で決めて値札やポップを書いてくれる

そうです。

販売業務ではお客さんと野菜のことを分からないながらも話すこと、または世間話をするのが楽しいと言っていました。

趣味は時間つぶしにやっている携帯ゲーム「ツムツム」などが楽しく、時間を忘れてしまうそうです。（山口）





11月6日(日)に緑区の橋本公園にて「シルバーまつり」が開催されました。

今年は緑ブロックが担当となり、約900名の方が参加され盛大に行われました。

午前9時50分に山中理事長による開会宣言が行われ、10時からおまつりが始まりました。天気も良く、たくさんの方々が参加され、野菜売り場や飲食コーナーでは行列ができていました。皆さんから楽しそうな笑顔が見られ、午後2時に閉会となりました。



地場野菜の販売コーナー



### シルバーまつりの主な内容

- 独自事業の出店(刃物研ぎ、障子・網戸張り、野菜販売他)
- 私の自慢・発明展(書道、生け花、写真、手芸品他)
- フリーマーケット(14店舗)
- 飲食コーナー(焼きそば、ジャガバタ、ふかし芋他)
- スクラッチ(プログラミング教室)
- ちびっこ広場(輪投げ・ホールインワン・魚釣り)



私の自慢展の押し花体験

# 第1回 シルバーまつり開催

たのしい一日でした。



ちびっこ広場



シルバーキッチン同好会



フリーマーケット

## めざせプログラマー！

「シルバーまつり」でスクラッチ(プログラミング教室)体験会イベントを開催しました。

体験に来てくれた小学生は9人(男の子4人、女の子5人)でした。

なお、スクラッチを知ってもらうため小学生を連れた親子に説明とチラシを配り、スクラッチの啓発活動を行いました。

(投稿 野川会員)



プログラミング教室



## 会員演芸会が開催されました

12月7日（水）の午後12時30分から、サンエールさがみはらにて演芸会実行委員会主催の第6回会員演芸会が開催されました。

3時間30分に及ぶ長時間の公演でしたが、会員の歌や踊りが披露され、観客席からは万雷の拍手と「がんばれ」「いいぞ」などの声援が上がっており、大いに盛り上がりました。

出演者の皆さんは練習の成果を存分に発揮されており、唄、舞踊、民謡、漫談、銭太鼓、ハーモニカ、楽器演奏など演目は多岐にわたりました。

コロナ禍での開催となりましたが、十分に感染対策を施すことで、安心して楽しむことができました。

（山口）



# デジタル活用支援推進事業(スマホ講習会)

政府は、デジタル社会の目標として「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を進めることとしています。

このため、総務省では令和3年度から、高齢者等が身近な場所で身近な人からデジタル活用について学べる講習会等を推進する「デジタル活用支援推進事業」を開始しました。

すでに、国が進めるデジタル活用支援推進事業の講習会が全国各地で開かれています。

相模原市シルバー人材センターは、公民館などを利用して実施される地域に根差した支援「地域連携型」の講習会の実施団体として応募しました。全国から242団体616件の申請がありましたが、シルバー人材センターが採択されたのは13件で県内では当センターのみでした。

採択後に南事務所のパソコン講師など会員17名が、国が指定する研修を受講し就業の運びとなりました。

先般、現行の健康保険証を2024年秋にも原則廃止しマイナンバーカードを保険証代わりに使う、「マイナ保険証」に一本化する方向で調整に入っています。

わたしたち高齢者にとって、スマホを学ぶことは億劫かもしれませんが、マイナンバーカードと行政手続きを紐づけする方向に動いています。否が応でも向き合わなければならない課題となってきましたが、デジタル化は写真や動画を楽しんだり、ラインで孫とやりとりができたり楽しいことがいっぱいあります。

センターも「デジタル活用支援推進事業」に積極的に参画しておりますので、シニアの皆さんのデジタル化推進に少しでもお役にたてればと講師一同奮起しているところです。  
(山川)



小山公民館にて

## 安全管理委員会のお知らせ

事故防止活動の一環として、安全管理対策員による現場安全巡回を令和4年6月から10月末までの間で実施しました。コロナ禍にもかかわらず、安全管理対策員、および就業会員の皆様におかれましては、安全巡回へのご理解、ご協力誠に有難うございました。

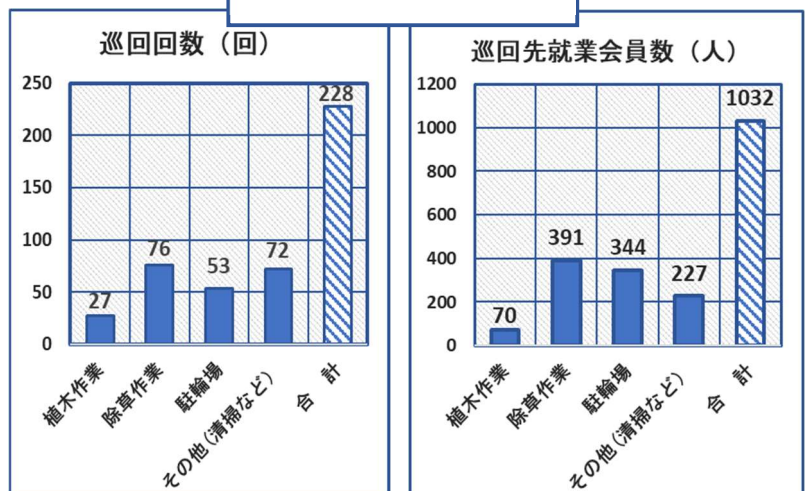
巡回においては、安全に対する啓蒙を重点的に行い、事故を起こさないために守るべきルールなどご理解いただけたと思います。

これからも会員の皆様一人ひとりが安全意識を強く持ち、就業前にはチェックシートの活用、危険予知の実施など、積極的に行っていただくようお願いします。

### 【高齢ドライバー安全運転教室のご案内】

令和5年3月に高齢ドライバー安全運転教室を開催します。就業にて車を運転される方は必ず参加をお願いします。また就業途上で車やバイクなどを利用される方も、積極的な参加をお願いします。なおコロナ感染拡大状況によっては中止となる場合がありますのでご了承ください。

### 安全巡回実施結果



### 開催日時

中央：令和5年3月9日（木）

南：令和5年3月24日（金）

緑：令和5年3月3日（金）

※詳細については、折込みの“募集チラシ”をご覧ください。



# シニア女性の社会参加～年金を受給しながら働こう～

11月に市民を対象とした「シニア女性の社会参加」についての講座が開催され、講師にNPO法人学びサポート研究会理事長の宍戸佳子先生をお迎えしました。参加者は27名で、全日とも午後2時から午後4時まで行われました。

第1部「シニア女性の社会参加～年金を受給しながら働こう～」の内容は主に次の5項目でした。

- ① シニア世代の労働需要
- ② 定年後の社会参加
- ③ 私生活と仕事の両立
- ④ 仕事と健康の結びつき
- ⑤ 趣味の充実

コロナウィルス感染症の拡大予防に配慮し、グループワークは中止となりましたがパーテーションを設置したうえで意見交換が行われました。

第2部「シルバー人材センターのご案内」では、当センターの入会促進用DVDを放映し、理事からセンター

の事業説明と体験談の紹介がありました。

参加者からは「退職したら入会したい」「1月になったら入会する」などの前向きな感想が聞かれました。

(小林)



## いきいき美容教室



10月31日(月)午後2時から午後4時まで市民を対象とした「いきいき美容教室」が開催され、キャンセル待ちが出るほどの人気となり、当日の参加人数は17名でした。

最初の1時間はいきいき美容教室、その後はシルバー人材センターの入会案内を行いました。

いきいき美容教室では、資生堂ジャパン(株)から3名の講師が来られ、まずは準備体操のストレッチから入り、唾液腺を意識した顔のスキンケア法と若々しい印象に見える眉の描き方が行われました。最後に口紅やほほ紅をつけメイクが完成すると、参加された皆さんは顔色が明るくなり、表情も豊かに感じられました。

健康長寿のためには3つの秘訣(運動・食事・交流)があり、身だしなみや化粧をすることで行動意欲が上がり、健康寿命を延ばす事に繋がるとのことでした。

(小林)

## Smile to Smile サービス利用のお願い!

(パソコンやスマホで配分金明細書が確認できます)

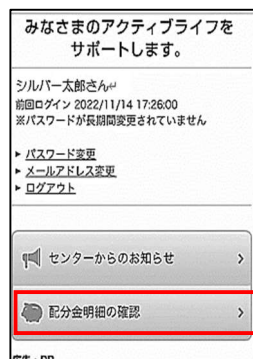
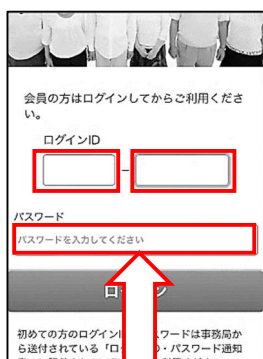
① QRコードを読み取ります。

② はじめの画面が表示されます。

③ IDとパスワードを入力し、ログインをタップします。

④ マイページの配分金明細の確認をタップします。

⑤ 今月分の配分金明細書が表示されます。



【お願い】 ③の初期IDと初期パスワードが必要です。

『スマホで配分金明細を見たいのでIDとパスワードを送ってください』と事務局にお電話ください。登録、利用は無料です。(回線費用は個人負担です)

# めぐり会いの広場



## 職員人事異動

採用 令和5年1月1日付  
南事務所 主任 福本 朗大  
異動 令和5年1月1日付  
緑事務所 主事 脇 麻依子  
事務局 嘱託職員主事 池田 広子  
退職 令和4年9月30日付  
緑事務所 主事 田屋 慶太

※1月の配分金支払日は**1月20日(金)**です。  
ご注意ください。

## 「シルバーの日」活動報告!

全国シルバー人材センター事業協会の実業普及啓発促進月間に合わせ、当センターでも10月に、各地区・班で駅前や公園等の一斉美化奉仕活動を行いました。中央・南・緑の38地区で401名の参加者にご協力をいただきました。

活動内容は、主に駅周辺及び公園などの公共施設周辺の清掃・ゴミ拾い・除草・マスク配布などで、約2時間の活動でした。

シルバー人材センターの奉仕精神と広報に大きく貢献できたのではないのでしょうか。皆さんお疲れさまでした。



## Instagram開設のお知らせ

当センターのアカウントを作成しました。会員さんの様子やイベント情報を更新していきますので、Instagramのアカウントをお持ちの方はぜひフォローしてください。

アカウント：(公社)相模原市シルバー人材センター

ID : sagamihara\_silver

QRコードを読み取るとご覧いただけます。



## 各事務所連絡先

< 事務局 > 042(753)7373  
< 中央事務所 > 042(754)1177  
< 南事務所 > 042(745)2158  
< 緑事務所 > 042(783)1313  
< 津久井連絡所 > 042(780)1872  
< 相模湖連絡所 > 042(684)3126  
< 藤野連絡所 > 042(686)6505

めぐり会いの広場では、皆様の読者投稿作品を募集しております。ご応募については、事務局までお問い合わせください。

## 読者投稿作品

川柳

取っておく 癖が昂じた  
ごみ屋敷

アルバムを見て あの頃は  
若かつた

田名 畠山 義喜

歳なんて 忘れています  
鏡 無きや

今が花 去年も言った  
そんな事

二本松 見城 マサ子

## 編集後記

元気な高齢者が増えるなか、「自分はシルバーではない」と考える人が増えているようだ。シルバーの起源を調べてみたら1973年9月15日の敬老の日に国鉄で優先席を設けた際に、優先席の座席の色がシルバーだったことが由来でシルバーが広がったと言う。日本は「シルバー向けパソコン教室」「シルバーシート」「シルバーマーク」など「老い」や年齢を意識せざるを得ない表現がよく使われる。

つまり好むと好まざるとに関わらず、「年齢とそれにふさわしい行動を意識しながら暮らすこと」が良しとされる社会なのだ。

アメリカでは「老眼鏡」のことを「読書用メガネ」と言っているという。「老い」を感じさせない表現が多い。アメリカでは年齢にとらわれない生き方を良しとする風潮が強いためのようだ。

年齢を意識する社会は、自分にブレーキをかけたり積み上げた経験を活かせなかったりの支障があると云います。今年は年齢意識を捨て去り、新たな一年を過ごしてみてはいかがでしょう。

編集委員 山川